


1 めざす「あいちの人間像」について ( : 委員の発言要旨を示す)

基本理念 : 「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現

・理念らしく、「子どもの可能性を拓くあいちの教育」に

<めざす「あいちの人間像」>

【共に生きる】 命を大切に、多様な他者の存在を尊重して生きることのできる人間

自他の命を大切に、多様な人々の存在を尊重して生きることのできる人間

- ・「かけがえのない命と人権を大切に、共に生きることのできる人間」に
- ・「命を大切に、自己や他者の多様性を尊重して生きる」に
- ・「自他の命を大切に、多様性を尊重して」に
- ・「他者」には「多様」という意味合いを含んでいる。

【自分を生かす】 互いに切磋琢磨し、自らの力を生かして社会をつくっていくことのできる人間

互いに切磋琢磨し、自らの力を社会に生かすことのできる人間

・「力」を取る ・「力」を残す

・「生かす」か、「活かす」か

・「つくる」を漢字に

・「つくる」か、「主体性」のニュアンスを入れて「築く」か

切磋琢磨→

- ・「未知の課題を解決するため、協働性、能動性、主体性をもって」に
- ・協調性、協働性などと相反するイメージ→「自分の力を高め発揮し」に
- ・「学びを生かして未来を切り拓き、社会をつくっていくことのできる人間」に
- ・トップエリートだけでなく、どの子も学べる視点で

- ・自分たちでしっかり、お互いに頑張っていく、という意識
- ・グローバル化、産業界では余儀なく「切磋琢磨」されている。

【学び続ける】 生涯にわたって学び続けるとともに、健やかな体をつちかっていくことのできる人間

生涯にわたって健やかな体と心をつちかい、学び続けることのできる人間

- ・「心の育成」を入れて、「健やかな体と豊かな人間性を基盤として、生涯にわたって学び続ける人間」に
- ・ひっくり返して「健やかな体をつちかい、生涯にわたって学び続けることのできる人間」に
- ・「心」を入れて、「健やかな心と体」に
- ・生涯にわたって学び、体も心も生涯にわたってつちかっていくという意味で「生涯にわたって」を頭に置いている。

【あいちを創る】 あいちの伝統文化、「ものづくりの精神」を継承し、新たな価値を創造することのできる人間

あいちの伝統と文化、「ものづくりの精神」を継承し、新たな価値を生み出すことのできる人間

- ・農業も特色。「産業」を入れて「伝統文化・産業」に
- ・継承するのは「伝統文化」よりも「伝統と文化」

- ・「新たな価値を創造する」→ プロセスを大切にする意味を含めて「創意工夫しながら新たな価値を生み出す」に

【世界にはばたく】 次代を展望し、世界に視野を広げ活動することのできる人間

2 五つの基本的な取組の方向と取組の柱（例）について

五つの基本的な取組の方向	取組の柱（例）
1 個に応じたきめ細かな教育を充実させ、一人一人の個性や可能性を伸ばします	(1) 個に応じたきめ細かな指導
	(2) 多様な学びを保障する学校づくり
	(3) 特別支援教育の充実
	(4) 外国語教育の推進
	(5) 理数教育の推進
	(6) 情報（ICT）教育の充実
	(7) 日本語指導が必要な子どもたちへの支援の充実
	(8) 貧困状態にある子どもたちへの支援の充実
2 人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、道徳性・社会性を育みます	(9) 道徳教育の充実
	(10) 人権教育の推進
	(11) いじめ・不登校等への対応の充実
	(12) 主権者教育・市民性教育の推進
3 健やかな体と心を育む教育を充実させ、たくましく生きる力を育みます	(13) 家庭教育・子育ての支援の充実
	(14) 幼児教育の充実
	(15) 健康教育・食育の推進
	(16) 学校体育の充実
	(17) 安全教育の推進
4 未来への学びを充実させ、あいちを担う人材を育成します	(18) キャリア教育の推進
	(19) 環境教育・ESD・グローバル化への対応の推進
	(20) 「オリンピック・パラリンピック教育」の推進
	(21) 伝統文化・文化財の継承と新たな文化の創造
	(22) 生涯学習・スポーツの推進
	(23) 教員の養成・採用・研修の工夫と多忙化解消への支援
5 学びがいのある魅力的な学校づくりを進めます	(24) 地域における学校支援の仕組みづくりの推進
	(25) 学校施設・設備の充実
	(26) 大学高等教育の振興
	(27) 私立学校の振興

○文章の中を見ても「学ぶ意味を感じられる学校」という表現がしっくりこないの、「教育環境を充実させ、魅力ある学校づくりを進めます」とはつきりとうたったほうが分かりやすい。
 <対応案>
 ○「学びがいのある魅力的な**教育環境づくり**を進めます」と修正する。

※27本の取組の柱に1本の柱を追加して、28本の取組の柱とする。

【自尊感情の育成について】
 ○ 全国学力・学習状況調査の報告書の中で、以前から子どもたちの自己肯定感が低いとの結果が示されているので、**取組の柱の中に、「自尊感情の育成」を入れてはどうか。**
 <修正案>
 ○ 新規の柱としてではなく、「**基本的な取組を推進するに当たっての留意点**」の「**生きる力を育む家庭・地域・学校の取組の連携強化**」及び「**(9) 道徳教育の充実**」、「**(11) いじめ・不登校等への対応の充実**」の箇所に記載する。

【グローバル化への対応について】
 ○ グローバル化への対策というのは、1(4)「外国語教育の充実」と、4(19)「環境教育・ESD・グローバル化への対応の推進」の2つだけなのか。「あいちグローバル人材育成事業」は高等学校が主な対象ということだが、成長段階の早い時期から海外の人たちに目を向けるという流れもあった方がよく、小中では、具体的に海外から来た生徒の受け入れや海外への派遣といったことを通して、多文化の理解などに取り組んでいるといった具体的な記載がもう一行あってもいいのではないかと。
 <修正案>
 ○ **(19)「環境教育・ESDの推進・グローバル化への対応の推進」を、「(19)グローバル化への対応の推進」と、「(20)環境教育・ESDの推進」と分けて、**(19)にグローバル化へ対応する施策（諸外国の異文化や日本の伝統・文化・地理・歴史についての理解を深める教育、英語教育、多文化共生に向けた教育）について記載する。

【女性の活躍促進について】
 ○ (18)の施策例に「**固定的性別分担意識にとらわれない勤労観の育成**」とあるが、社会に女性の活躍の場を広げていくということをどこかに書き込んでほしい。取組の柱「(18)キャリア教育の推進」の前段のところに、「**社会に役立つこと**」を計画の基本理念としているということ踏まえた表現を盛り込んでほしい。決して女性の問題ではなく、男性の意識を変えていくことが重要である。
 ○ 「**固定的性別役割分担意識にとらわれない**」ではなく、「**男女共同参画にもとづいた**」と表現してほしい。
 <対応案>
 ○ 取組の柱を「**(18)社会人・職業人としての自立に向けた**キャリア教育の推進」とし、「**女性の活躍促進**」の取組を記載するとともに、「(22)生涯学習・スポーツの推進」に、「**ワーク・ライフ・バランスの普及推進**」に関わる取組を記載する。

【多忙化解消への支援について】
 ○ (23)の「**教員の養成・採用・研修**」と「**多忙化解消への支援**」が同じ柱にあるが、これに違和感がある。まず、教員の養成・採用・研修を一本にして一元化の推進とする。それから、(24)「**地域における学校支援の仕組みづくり**」があるが、学校支援の仕組みづくりとして、専門スタッフ「**チーム学校**」の問題と、もう一方では地域の人との協働というコミュニティスクールといった、開かれた学校づくりという形の方がおさまりがいい。
 ○ 多忙化解消のところに関しては、(24)に入れるというお話もあったが、私は別に取組の柱として多忙化解消の支援というのをいれて、施策のほうにアクティブ・ラーニングを加える。
 <対応案>
 ○ 「**(24)教員の養成・採用・研修の改善**」、「**(25)開かれた学校づくりと多忙化解消への支援**」と整理し直す